

上田地域広域連合
ごみ処理広域化計画
(改訂版)

令和8年3月

上田地域広域連合
上田市・東御市・長和町・青木村

目 次

1	本改訂について	1
	(1) 背景及び目的	1
	(2) 資源循環型施設建設に向けた取組	2
2	可燃ごみ排出量の推移と令和7年度可燃ごみ減量化目標値の達成状況	2
	(1) 可燃ごみ排出量	2
	(2) 可燃ごみ減量化目標値の達成状況	8
	(3) 国の目標値に対する達成状況	9
3	可燃ごみ減量化目標値の設定	10
	(1) 目標設定の考え方	10
	(2) 計画目標年度	10
	(3) 将来人口予測	10
	(4) 減量化目標値の設定	11
4	施設規模	14
	(1) 施設規模の算定方法	14
	(2) 施設規模の算定	14

資料編

各市町村の可燃ごみの実績及び減量化目標値	資料1～資料9
実績値（令和6年度）と減量化目標値（令和12年度）の比較	資料10
減量化目標値（令和7年度と令和12年度）の比較	資料11

1 本改訂について

(1) 背景及び目的

上田地域広域連合（以下「広域連合」という。）は、「上田地域広域連合 ごみ処理広域化計画」に基づき、ごみ処理の広域化及びごみの減量・再資源化施策の推進に努めている。

ごみ処理広域化計画は、平成11年3月に策定した第1次計画に始まり、ごみ行政を取り巻く社会的状況の変化や、施設整備の進捗などにより改訂を繰り返してきており、減量化目標値もその都度再設定している。現在は、令和3年3月改訂の「第4次ごみ処理広域化計画」（以下「第4次計画」という。）の計画期間となっている。

第4次計画では、老朽化している3つのクリーンセンター（上田クリーンセンター、丸子クリーンセンター、東部クリーンセンター）を統合する統合クリーンセンター（資源循環型施設）の建設に向け、資源循環型施設建設対策連絡会^{*1}（以下「対策連絡会」という。）との協議結果を最大限尊重し、施設整備の基本方針に取り込むとともに、改めて令和7年度目標の可燃ごみ減量化目標値を設定している。

本計画は、目標年度を迎えた可燃ごみ減量化目標値を再設定するものである。なお、第4次計画の計画期間は令和12年度であり、本改訂では可燃ごみ減量化目標値のみ改訂することとする。

※1：建設地の地元関係団体の役員で構成され、行政とごみ問題全般に関する協議を行う組織

表1 ごみ処理広域化計画の策定・改訂経過

計画名	策定・改訂年月	策定・改訂内容
	計画期間	
上田地域広域連合 ごみ処理広域化計画 (第1次計画)	平成11年3月	<ul style="list-style-type: none"> ・ダイオキシン類削減対策 ・3つのクリーンセンターの統合方針
	平成10年度～ 平成29年度	
上田地域広域連合 ごみ処理広域化計画 (第2次計画)	平成21年10月	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ減量化の取組や施設規模等の整備方針の再検討 ・可燃ごみ減量化目標値（平成27年度）の設定
	平成21年度～ 平成29年度	
上田地域広域連合 ごみ処理広域化計画 (第3次計画)	平成28年2月	<ul style="list-style-type: none"> ・第2次計画の内容更新及び基本方針の再検証 ・可燃ごみ減量化目標値（平成32（令和2）年度）の設定
	平成28年度～ 平成37（令和7）年度	
上田地域広域連合 ごみ処理広域化計画 (第4次計画)	令和3年3月	<ul style="list-style-type: none"> ・資源循環型施設建設に係る地元協議内容の施設基本方針への反映 ・可燃ごみ減量化目標値（令和7年度）の設定
	令和3年～ 令和12年度	

(2) 資源循環型施設建設に向けた取組

平成24年6月7日に、し尿処理施設「清浄園」用地を資源循環型施設の建設候補地とする提案を行って以降、「ごみ問題は、ごみを出す住民として自らの問題である。」との認識から設立した対策連絡会と話し合いを継続している。

令和7年1月に環境影響評価の手続が完了したこと、地域のまちづくりの話し合いが進められていることから、広域連合長が清浄園用地を建設地とすることを決断し、令和7年6月6日、広域連合及び上田市は、対策連絡会並びに構成団体と、「資源循環型施設の建設地決定に関する基本協定」を締結するに至った。

資源循環型施設建設に向けた、今までの取組状況を表2に示す。

表2 資源循環型施設建設に向けた取組状況

年 月	内 容
平成24年6月	・広域連合は、圏域住民に対して、し尿処理施設「清浄園」を廃止した上で資源循環型施設の建設候補地とする提案をした。
平成24年～	・広域連合は対策連絡会と、清浄園用地を建設候補地とした経緯等の資源循環型施設建設に関することのほか、ごみの減量・資源化等ごみ問題全般について協議を開始する。現在に至るまで協議を重ねており、今後も継続していく。
平成30年11～ 令和2年4月	・「資源循環型施設検討委員会」を立ち上げ、安全・安心な施設のあり方等について継続的に議論する。
令和2年8月～ 令和2年10月	・説明会の開催。(全7回) ・対策連絡会から、環境影響評価着手について同意がなされる。
令和2年11月～ 令和7年1月	・環境影響評価の実施。 ・各4つの手続それぞれで住民説明会を開催。
令和7年2月	・説明会の開催。 ・環境影響評価及び建設地決定に向けた取組の説明。
令和7年3月	・対策連絡会へ、基本協定締結の申し入れ。
令和7年5月	・連合長が清浄園用地を建設地とすることについて、正副連合長会にて提案。 ・広域連合臨時会にて建設地決定及び基本協定締結について表明。
令和7年6月	・広域連合と上田市は、対策連絡会並びに構成団体と基本協定を締結。

2 可燃ごみ排出量の推移と令和7年度可燃ごみ減量化目標値の達成状況

(1) 可燃ごみ排出量

広域連合及び関係市町村(上田市、東御市、長和町、青木村)の可燃ごみ排出量の推移を表3～表7及び図1～図5に示す。

なお、ごみ処理における共同事務においては、広域連合を構成する市町村のうち坂城町を除く2市1町1村で実施しており、本計画では、この地域を上田地域とする。

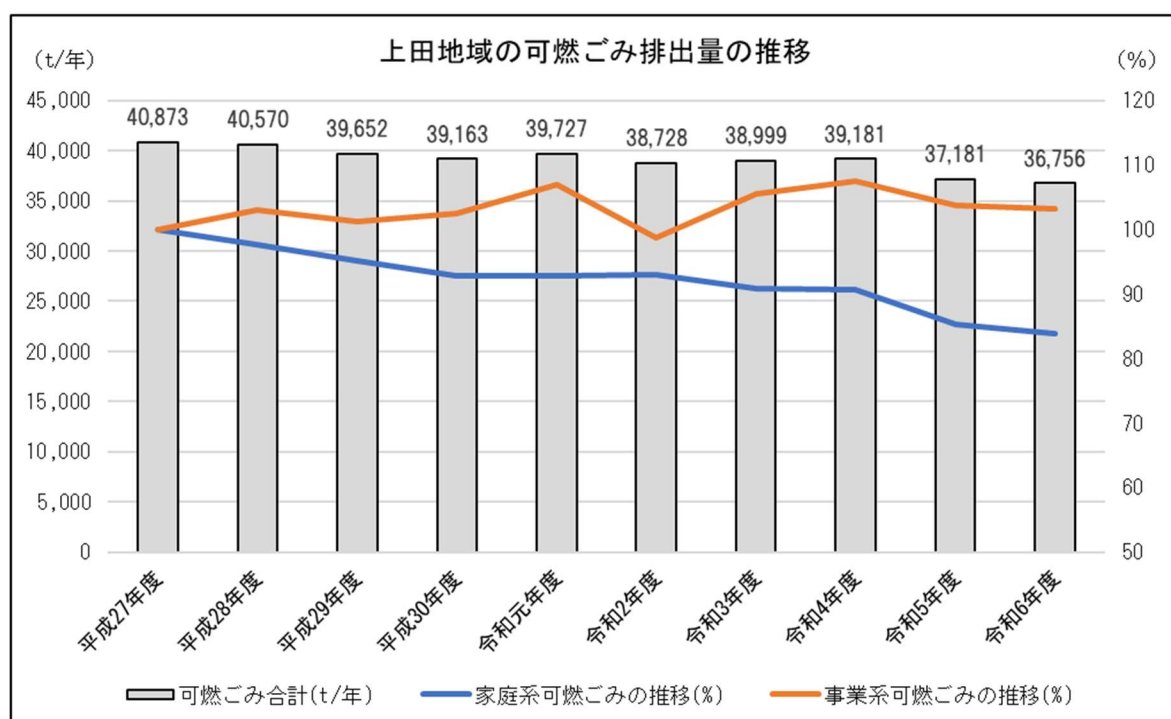
表3 上田地域の可燃ごみ排出量の推移

(単位：ト/年)

年度 区分	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
人 口 ^{※1} (人)	201,697	200,914	199,796	199,078	197,648	195,921	194,681	193,406	191,934	190,411
可燃 ごみ	家庭系	28,179	27,499	26,798	26,163	26,138	26,206	25,597	25,544	24,017
	事業系	12,694	13,071	12,854	13,000	13,589	12,522	13,402	13,637	13,109
	合 計	40,873	40,570	39,652	39,163	39,727	38,728	38,999	39,181	37,181
原単位 ^{※2} (g/人日)	381.7	375.0	367.5	360.1	361.3	366.5	360.2	361.8	341.9	340.2

※1：人口は、住民基本台帳 10/1 現在のデータ（外国人含む）

※2：家庭系可燃ごみにおける、一人一日当たりの排出量



※家庭系及び事業系可燃ごみの推移については、平成 27 年度の排出量を 100 とした場合の推移

図1 上田地域の可燃ごみ排出量の推移

- ・全体の可燃ごみ排出量：減少傾向 ▼10.0% (R6 年度排出量の H27 年度比)
- ・家庭系可燃ごみ橋出量：減少傾向 ▼16.1% (R6 年度排出量の H27 年度比)
- ・事業系可燃ごみ排出量：増加傾向 △ 3.3% (R6 年度排出量の H27 年度比)

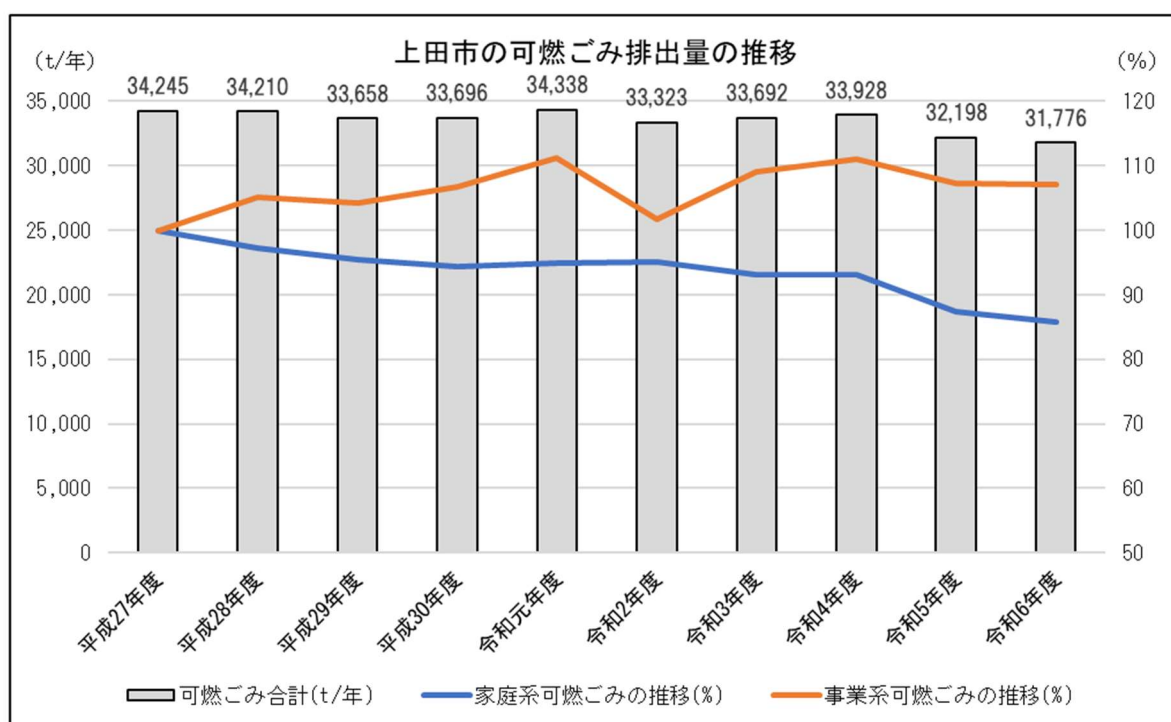
表 4 上田市の可燃ごみ量の推移

(単位：ト/年)

年度 区分	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
人 口 ^{※1} (人)	159,769	159,325	158,657	158,265	157,143	155,722	154,816	153,859	152,829	151,720
可燃 ごみ	家庭系	22,900	22,279	21,843	21,593	21,730	21,777	21,315	21,329	20,032
	事業系	11,345	11,931	11,815	12,103	12,608	11,546	12,377	12,599	12,144
	合 計	34,245	34,210	33,658	33,696	34,338	33,323	33,692	33,928	32,198
原単位 ^{※2} (g/人日)	391.6	383.1	377.2	373.8	377.8	383.1	377.2	379.8	358.1	354.5

※1：人口は、住民基本台帳 10/1 現在のデータ（外国人含む）

※2：家庭系可燃ごみにおける、一人一日当たりの排出量



※家庭系及び事業系可燃ごみの推移については、平成 27 年度の排出量を 100 とした場合の推移

図 2 上田市の可燃ごみ排出量の推移

- ・全体の可燃ごみ排出量：減少傾向 ▼ 7.2% (R6 年度排出量の H27 年度比)
- ・家庭系可燃ごみ排出量：減少傾向 ▼ 14.3% (R6 年度排出量の H27 年度比)
- ・事業系可燃ごみ排出量：増加傾向 △ 7.0% (R6 年度排出量の H27 年度比)

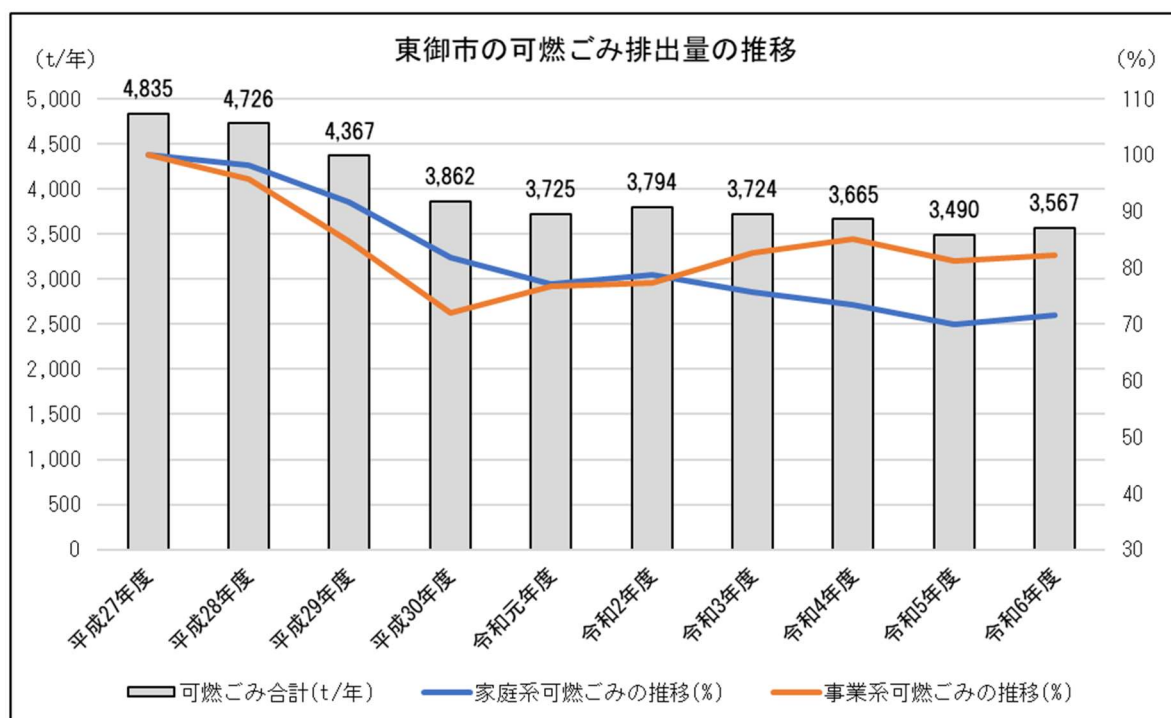
表 5 東御市の可燃ごみ量の推移

(単位：ト/年)

年度 区分	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
人 口 ^{※1} (人)	30,805	30,666	30,437	30,261	30,112	29,963	29,721	29,561	29,299	29,052
可燃ごみ	家庭系	3,874	3,806	3,554	3,170	2,988	3,050	2,929	2,847	2,776
	事業系	961	920	813	692	737	744	795	818	791
	合 計	4,835	4,726	4,367	3,862	3,725	3,794	3,724	3,665	3,490
原単位 ^{※2} (g/人日)	343.6	340.0	319.9	287	271.1	278.9	270.0	263.9	252.7	261.8

※1：人口は、住民基本台帳 10/1 現在のデータ（外国人含む）

※2：家庭系可燃ごみにおける、一人一日当たりの排出量



※家庭系及び事業系可燃ごみの推移については、平成 27 年度の排出量を 100 とした場合の推移

図 3 東御市の可燃ごみ排出量の推移

- ・全体の可燃ごみ排出量：減少傾向 ▼26.2% (R6 年度排出量の H27 年度比)
- ・家庭系可燃ごみ排出量：減少傾向 ▼28.3% (R6 年度排出量の H27 年度比)
- ・事業系可燃ごみ排出量：減少傾向 ▼17.7% (R6 年度排出量の H27 年度比)

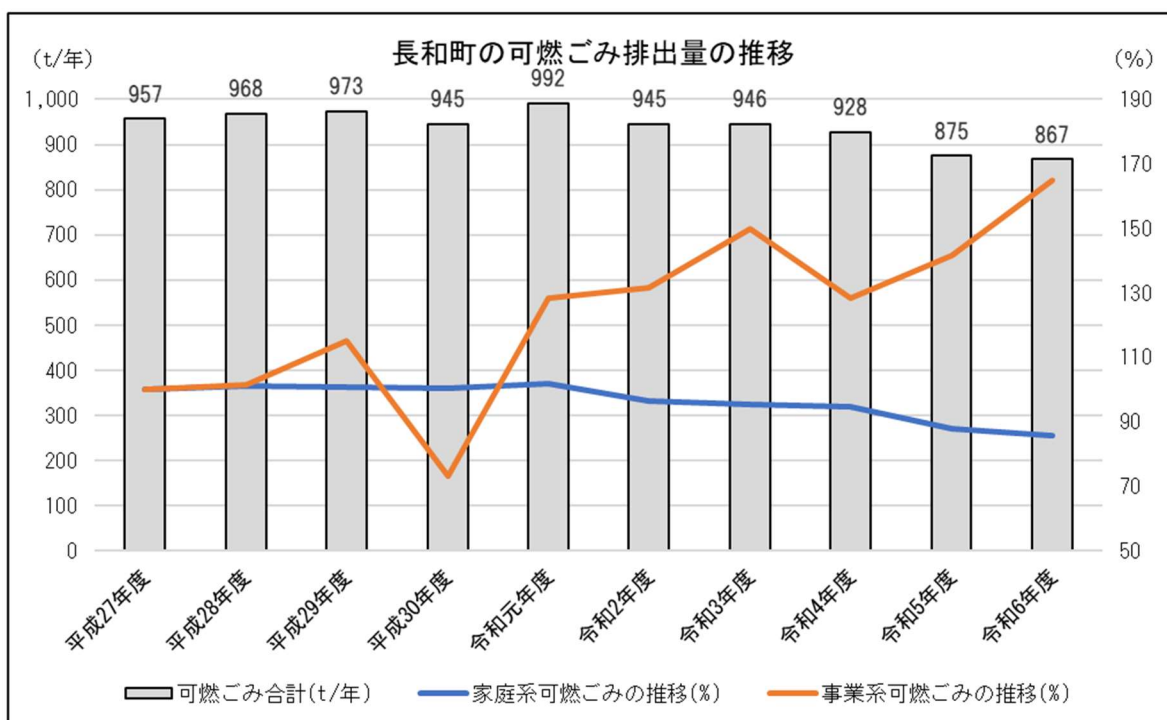
表 6 長和町の可燃ごみ量の推移

(単位：ト/年)

年度 区分	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	
人 口 ^{※1} (人)	6,528	6,382	6,247	6,153	6,017	5,899	5,834	5,757	5,634	5,543	
可燃 ごみ	家庭系	897	907	904	901	915	866	856	851	790	768
	事業系	60	61	69	44	77	79	90	77	85	99
	合 計	957	968	973	945	992	945	946	928	875	867
原単位 ^{※2} (g/人日)	375.4	389.4	396.5	401.2	415.5	402.2	402.0	405.0	383.1	379.6	

※1：人口は、住民基本台帳 10/1 現在のデータ（外国人含む）

※2：家庭系可燃ごみにおける、一人一日当たりの排出量



※家庭系及び事業系可燃ごみの推移については、平成 27 年度の排出量を 100 とした場合の推移

図 4 長和町の可燃ごみ排出量の推移

- ・全体の可燃ごみ排出量：減少傾向 ▼ 9.4% (R6 年度排出量の H27 年度比)
- ・家庭系可燃ごみ排出量：減少傾向 ▼ 14.4% (R6 年度排出量の H27 年度比)
- ・事業系可燃ごみ排出量：増加傾向 △ 65.0% (R6 年度排出量の H27 年度比)

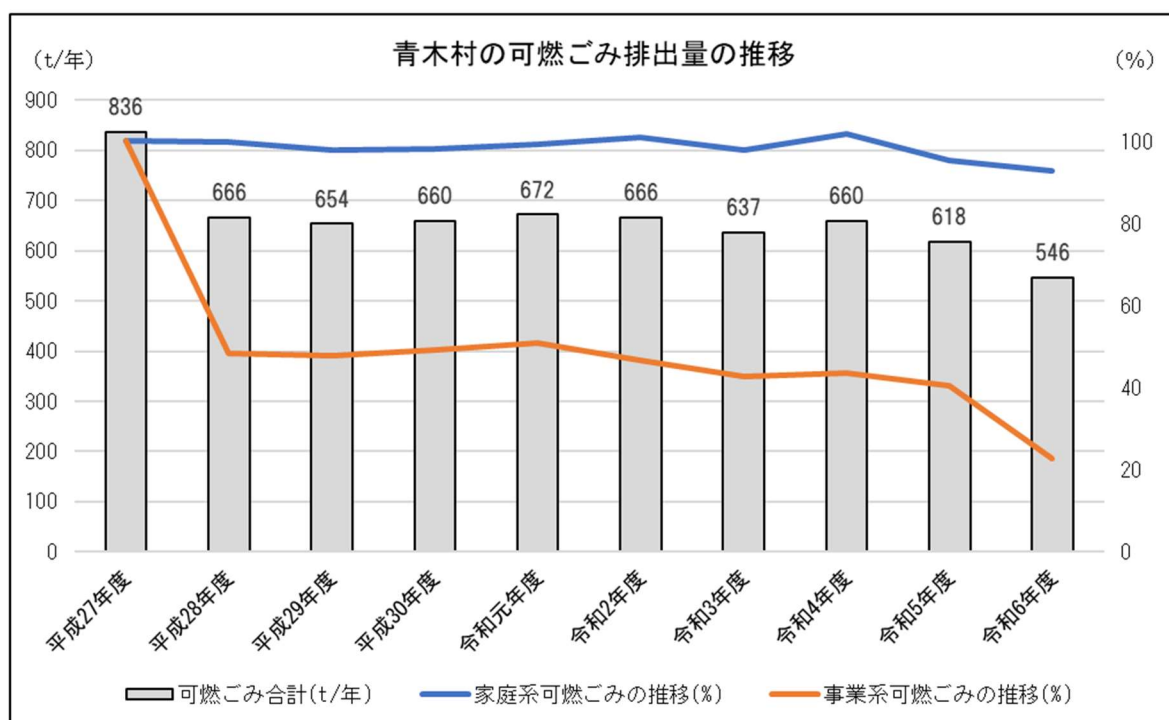
表 7 青木村の可燃ごみ量の推移

(単位：トン/年)

年度 区分	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	
人 口 ^{※1} (人)	4,595	4,541	4,455	4,399	4,376	4,337	4,310	4,229	4,172	4,096	
可燃 ごみ	家庭系	508	507	497	499	505	513	497	517	485	471
	事業系	328	159	157	161	167	153	140	143	133	75
	合 計	836	666	654	660	672	666	637	660	618	546
原単位 ^{※2} (g/人日)	302.1	305.9	305.6	310.8	315.3	324.1	315.9	334.9	317.6	315.0	

※1：人口は、住民基本台帳 10/1 現在のデータ（外国人含む）

※2：家庭系可燃ごみにおける、一人一日当たりの排出量



※家庭系及び事業系可燃ごみの推移については、平成 27 年度の排出量を 100 とした場合の推移
 ※事業系可燃ごみについて、H27 年度から H28 年度、R5 年度から R6 年度に大きく減少しているのは、集計方法を変更したため。

図 5 青木村の可燃ごみ排出量の推移

- ・ 全体の可燃ごみ排出量：減少傾向 ▼ 7.2% (R6 年度排出量の H27 年度比)
- ・ 家庭系可燃ごみ排出量：減少傾向 ▼ 4.3% (R6 年度排出量の H27 年度比)
- ・ 事業系可燃ごみ排出量：減少傾向 ▼ 16.4% (R5 年度排出量の H28 年度比)

(2) 可燃ごみ減量化目標値の達成状況

令和7年度可燃ごみ減量化目標値と令和6年度実績値の比較を表8に示す。

家庭系については、概ね目標値を達成しているが、事業系については達成できておらず、上田地域全体で、あと1,311トン/年の減量が必要である。

表8 令和7年度減量化目標値と令和6年度実績値の比較

(単位 上段：トン/年(年間発生量)、下段：g/人日(一人一日排出量))

関係市町村		令和7年度 減量化目標値	令和6年度 実績値	目標値 達成状況
上田地域	家庭系	24,368	23,647	目標値達成
		353	340	目標値達成
	事業系	11,077	13,109	未達成(2,032トン)
	合計	35,445	36,756	未達成(1,311トン)
		514	529	未達成(15g/人日)
上田市	家庭系	20,377	19,632	目標値達成
		371	355	目標値達成
	事業系	10,171	12,144	未達成(1,973トン)
	合計	30,548	31,776	未達成(1,228トン)
		556	574	未達成(18g/人日)
東御市	家庭系	2,741	2,776	未達成(35トン)
		261	262	未達成(1g/人日)
	事業系	704	791	未達成(87トン)
	合計	3,445	3,567	未達成(122トン)
		328	336	未達成(8g/人日)
長和町	家庭系	795	768	目標値達成
		402	380	目標値達成
	事業系	64	99	未達成(35トン)
	合計	859	867	未達成(8トン)
		434	429	目標値達成
青木村	家庭系	455	471	未達成(16トン)
		305	315	未達成(10g/人日)
	事業系	138	75	目標値達成
	合計	596	546	目標値達成
		398	365	目標値達成

※()内の数値は、目標達成までの数値。

(3) 国の目標値に対する達成状況

令和6年8月2日に閣議決定された第五次循環型社会形成推進基本計画における、「多種多様な地域の循環システムの構築と地方創生の実現に関する指標」において、一人一日当たりのごみ焼却量の令和12年度目標を約580 g/人日としている。

上田地域での令和6年度の実績値を表9に示す。令和6年度には、全ての関係市町村において、国の目標を達成している状況である。

表9 令和6年度の実績値

項目	上田地域	上田市	東御市	長和町	青木村
人口 (人)	190,411	151,720	29,052	5,543	4,096
可燃ごみ (t/年)	36,756	31,776	3,567	867	546
原単位※ (g/人日)	528.9	573.8	336.4	428.5	365.2

※原単位：一人一日当たりのごみ焼却量

3 可燃ごみ減量化目標値の設定

(1) 目標設定の考え方

可燃ごみ減量化目標値を設定するうえで、以下の点に留意するものとする。

- ・減量化施策は、関係市町村が実施していることから、関係市町村が設定している減量化目標値※を基本とする。

※上田市：上田市ごみ減量アクションプラン（改訂版）、令和5年度改訂

※東御市：東御市ごみ処理基本計画、令和7年度改訂

- ・関係市町村の家庭系ごみ及び事業系ごみ、それぞれについて目標値を設定する。
- ・より高い目標値とするが、資源循環型施設の施設規模算定の参考となる数値であることから、実現可能な目標設定とする。

(2) 計画目標年度

第4次計画の目標年度である、令和12年度を計画目標年度とする。

(3) 将来人口予測

将来人口の予測値は、関係市町村が策定している人口ビジョンの数値を採用するが、東御市においては、令和8年3月改定の東御市ごみ処理基本計画の数値を採用する。将来人口予測を表10に示す。

表10 人口実績値と予測値

	実績値						予測値	
	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R12年度
広域全体	197,648	195,921	194,681	193,406	191,934	190,411	188,250	182,743
上田市	157,143	155,722	154,816	153,859	152,829	151,720	150,103	146,157
東御市	30,112	29,963	29,721	29,561	29,299	29,052	28,740	27,700
長和町	6,017	5,899	5,834	5,757	5,634	5,543	5,420	5,035
青木村	4,376	4,337	4,310	4,229	4,172	4,096	3,987	3,851

※実績値は、10月1日現在の住民基本台帳の数値（外国人含む）

※予測値は、下記のとおり各市町村の人口ビジョンの数値

上田市：上田市版人口ビジョン（令和7年月）

東御市：東御市ごみ処理基本計画（令和8年3月）

長和町：長和町人口ビジョン（平成27年12月）

青木村：青木村人口ビジョン（令和4年3月）

※長和町の令和12年度予測値は、令和7年と令和17年の予測値の直線補完値

(4) 減量化目標値の設定

1) 家庭系可燃ごみ

家庭系可燃ごみについては、人口減少の影響もあるが、上田地域全体で、減少傾向にある。関係市町村の減量化施策を継続及び強化することを鑑み、表 1 1 の考え方のもと目標値を設定した。

表 1 1 目標値設定の考え方（家庭系可燃ごみ）

関係市町村	目標値 (一人一日排出量)	目標設定の考え方
上田市	349 g/人日	<ul style="list-style-type: none">令和7年度減量化目標値は達成済み。上田市が設定した令和9年度目標値を採用する。
東御市	2,624 t/年	<ul style="list-style-type: none">令和7年度減量化目標値は、ほぼ達成。東御市が設定した令和12年度目標値を採用する。
長和町	375 g/人日	<ul style="list-style-type: none">令和7年度減量化目標値は達成済み。平成27年当時は375 g/人日の原単位であったが、令和元年に415.5 g/人日まで上昇し、現在は減少傾向となっている。 (令和6年度実績379.6 g/人日)令和7年度減量化目標値を達成している上田市、東御市の目標値(令和6年度実績から1.5~2.5%減)を踏まえた目標値とする。(令和6年度実績から1.2%減)
青木村	305 g/人日	<ul style="list-style-type: none">令和7年度減量化目標は達成しておらず、原単位については増加傾向であったが、令和5年度以降減少傾向となっている。令和7年度減量化目標値を、令和12年度目標値として再度設定する。

2) 事業系可燃ごみ

事業系可燃ごみについては、上田地域全体で増加傾向となっている。

過去10年間の実績及び関係市町村が設定している目標値を参考に、表 1 2 の考え方のもと目標値を設定した。

表 1 2 目標値設定の考え方（事業系可燃ごみ）

関係市町村	目標値	目標設定の考え方
上田市	10,100 t/年	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度減量化目標値は達成しておらず、発生量は横ばい。 ・上田市が設定した令和9年度目標値を採用する。
東御市	704 t/年	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度減量化目標値は達成しておらず、発生量は横ばい。 ・東御市が設定した令和12年度目標値を採用する。
長和町	64 t/年	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度減量化目標値は達成しておらず、発生量は増加傾向。 ・令和7年度減量化目標値を、令和12年度目標値として再設定する。
青木村	75 t/年	<ul style="list-style-type: none"> ・上田市と按分により算出していたが、令和6年度か実績値による集計となっている。 ・大規模工場が本格稼働することを踏まえ、令和6年度実績値を目標値として設定する。

3) 減量化目標値

上田地域及び関係市町村の令和12年度可燃ごみ減量化目標値は表13のとおりとする。

表13 令和12年度可燃ごみ減量化目標値

市町村	令和12年度 可燃ごみ減量化目標値	内 訳 (家庭系 事業系)
上田地域	33,303 t/年 (499.3 g/人日)	・家庭系：22,360 t/年 (335.2 g/人日) ・事業系：10,943 t/年
上田市	28,718 t/年 (538.3 g/人日)	・家庭系：18,618 t/年 (349.0 g/人日) ・事業系：10,100 t/年
東御市	3,328 t/年 (329.2 g/人日)	・家庭系：2,624 t/年 (259.5 g/人日) ・事業系：704 t/年
長和町	753 t/年 (409.7 g/人日)	・家庭系：689 t/年 (375.0 g/人日) ・事業系：64 t/年
青木村	504 t/年 (358.6 g/人日)	・家庭系：429 t/年 (305.0 g/人日) ・事業系：75 t/年

4 施設規模

(1) 施設規模の算定方法

新たな可燃ごみ減量化目標値を参考に、資源循環型施設の施設規模を算定する。施設規模算定方法の概要を表14に示す。

表14 施設規模算定方法の概要

項目	算定概要	備考
計画目標年度	令和13年度	資源循環型施設の稼働予定年度
計画年間処理量	33,167 t/年	R12年度可燃ごみ減量化目標値からR13年度を推定
年間稼働日数	290日	通知より※1
実稼働率	0.795	通知より※1
調整稼働率	—	通知より※1
災害廃棄物処理量	10% (3,316t/年)	通知より※1
施設規模	126 t/日	計算結果(改訂前は144 t/日)

※1:「循環型社会形成推進交付金等に係る施設規模について(通知)」(令和6年3月29日)

(2) 施設規模の算定

$$\begin{aligned} \text{施設規模 (t/日)} &= \text{計画年間日平均処理量 (t/日)} \div \text{実稼働率} \\ &= 33,167 \text{ (t/年)} \div 365 \text{ 日} \div 0.795 \\ &= 90.8 \text{ (t/日)} \div 0.795 \\ &= 114.2 \text{ (t/日)} \rightarrow \underline{\underline{115 \text{ (t/日)}}} \end{aligned}$$

$$\text{災害廃棄物処理量 (10\%)} \quad 115 \text{ (t/日)} \times 0.1 = 11.5 \text{ (t/日)} \rightarrow 11 \text{ (t/日)}$$

$$\text{施設規模 (t/日)} = 115 \text{ (t/日)} + 11 \text{ (t/日)} = \underline{\underline{126 \text{ (t/日)}}}$$

資料編

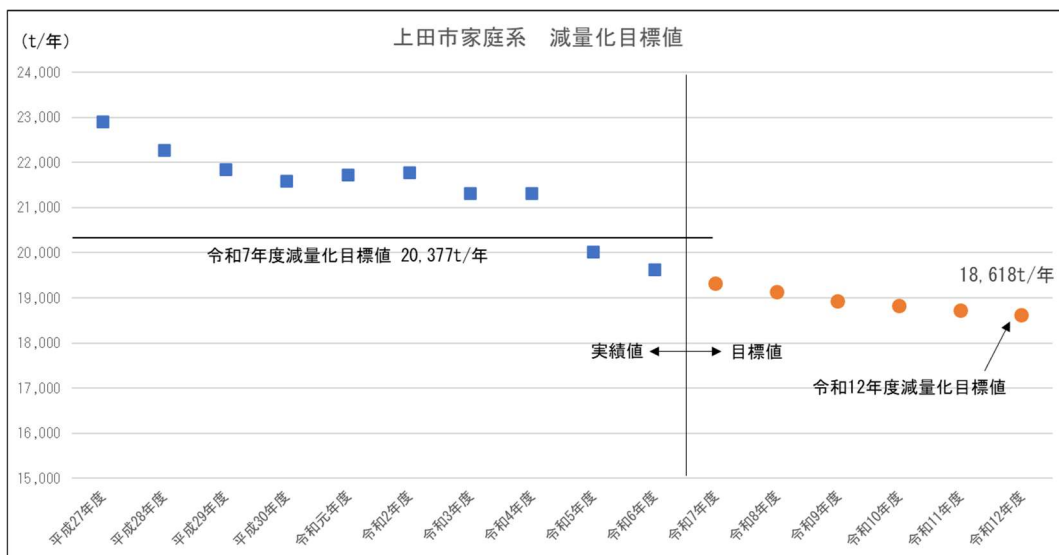
(減量化目標値決定の根拠)

1) 上田市

(ア) 家庭系

- ・令和7年度の減量化目標値は達成済み。
- ・上田市が設定した令和9年度目標値（一人一日排出量 349g/人日）を、本計画における目標値とし、令和12年度まで据え置くこととする。

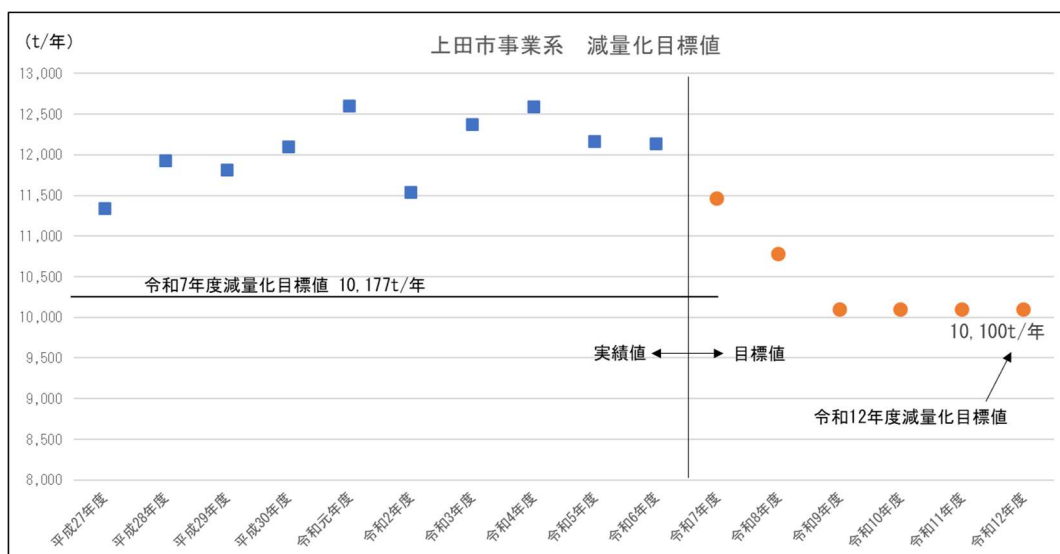
※ $349\text{g/人日} \times \text{R12年度予測人口} \times 365\text{日} = 18,618\text{t/年}$



資料図1 上田市家庭系可燃ごみの実績及び減量化目標値

(イ) 事業系

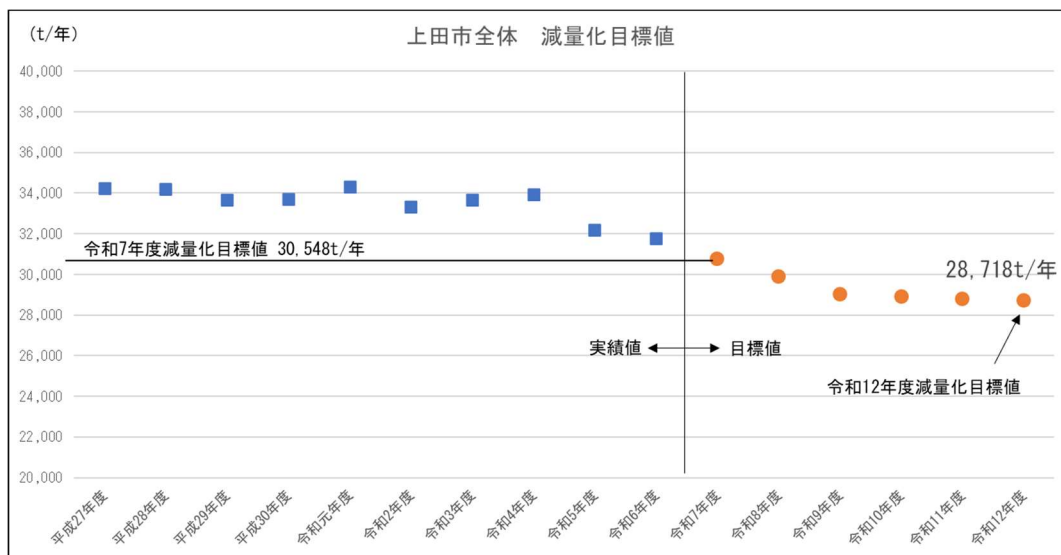
- ・令和7年度の減量化目標値は達成されていない。
- ・上田市が設定した令和9年度目標値（10,100t/年）を、本計画における目標値とし、令和12年度まで据え置くこととする。



資料図2 上田市事業系可燃ごみの実績及び減量化目標値

(ウ) 上田市全体

- ・家庭系可燃ごみ 18,618 t/年 (349 g/人日)
- ・事業系可燃ごみ 10,100 t/年
- ・可燃ごみ合計 28,718 t/年

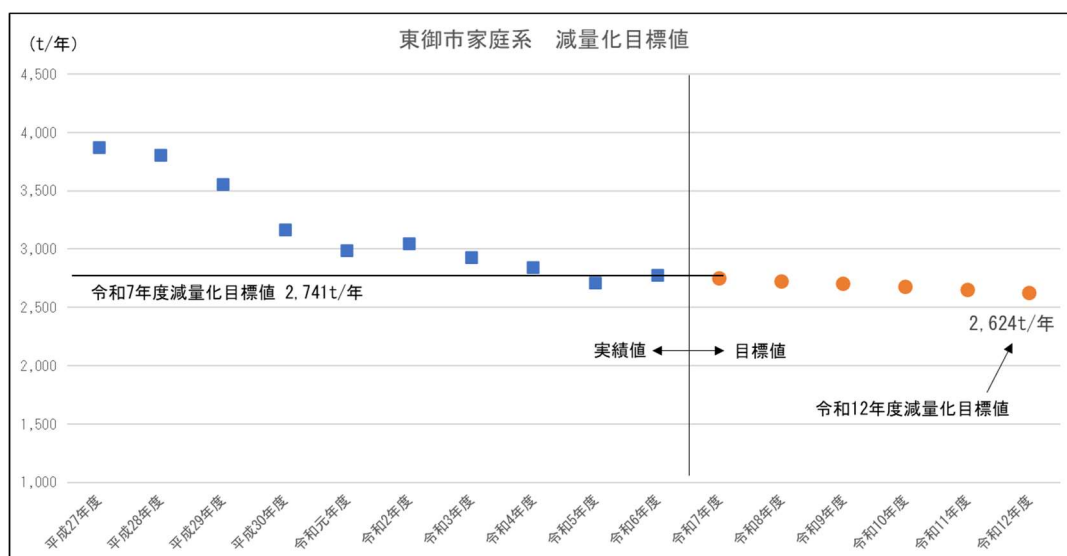


資料図3 上田市可燃ごみの実績及び減量化目標値

2) 東御市

(ア) 家庭系

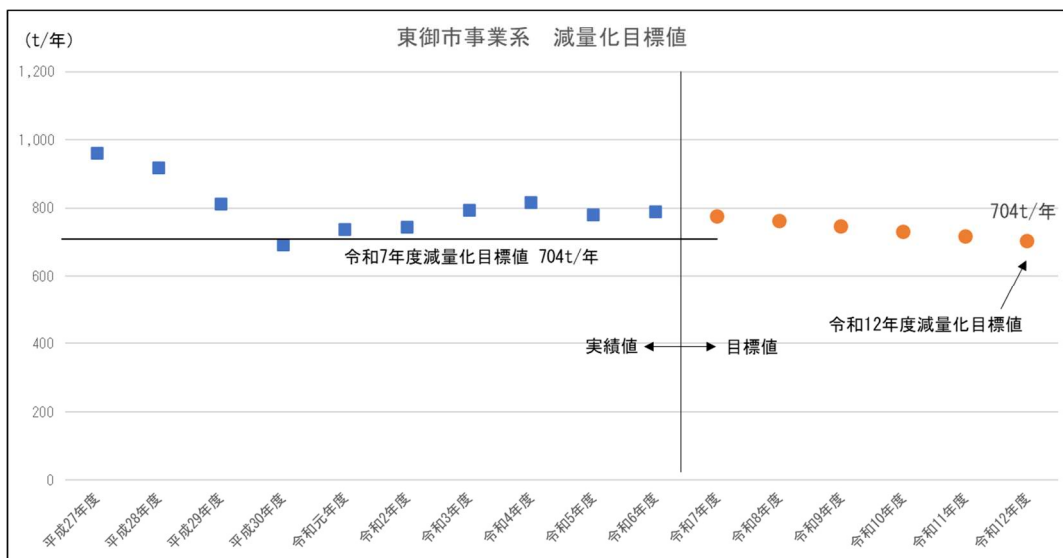
- ・減少傾向であり、令和7年度目標値は、ほぼ達成している。
- ・東御市ごみ処理基本計画で設定している令和12年度目標値(2,624t/年)を、本計画においても採用する。



資料図4 東御市家庭系可燃ごみの実績及び減量化目標値

(イ) 事業系

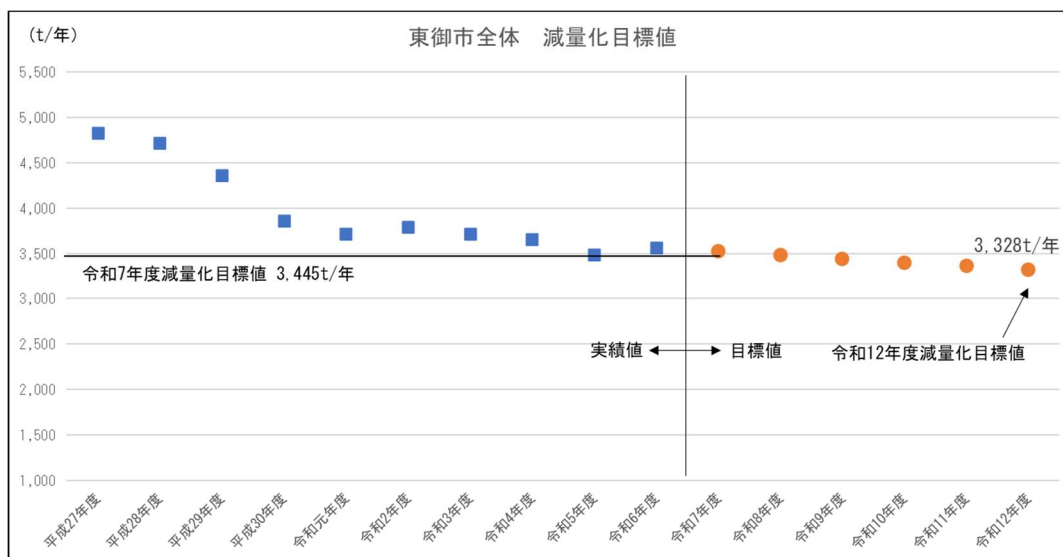
- ・横ばい状態であり、令和7年度減量化目標値は達成されていない。
- ・東御市ごみ処理基本計画で設定している令和12年度目標値(704 t/年)を、本計画においても採用する。(令和7年度目標値と同じ数値)



資料図5 東御市事業系可燃ごみの実績及び減量化目標値

(ウ) 東御市全体

- ・家庭系可燃ごみ 2,624 t/年 (259.5 g/人日)
- ・事業系可燃ごみ 704 t/年
- ・可燃ごみ合計 3,328 t/年

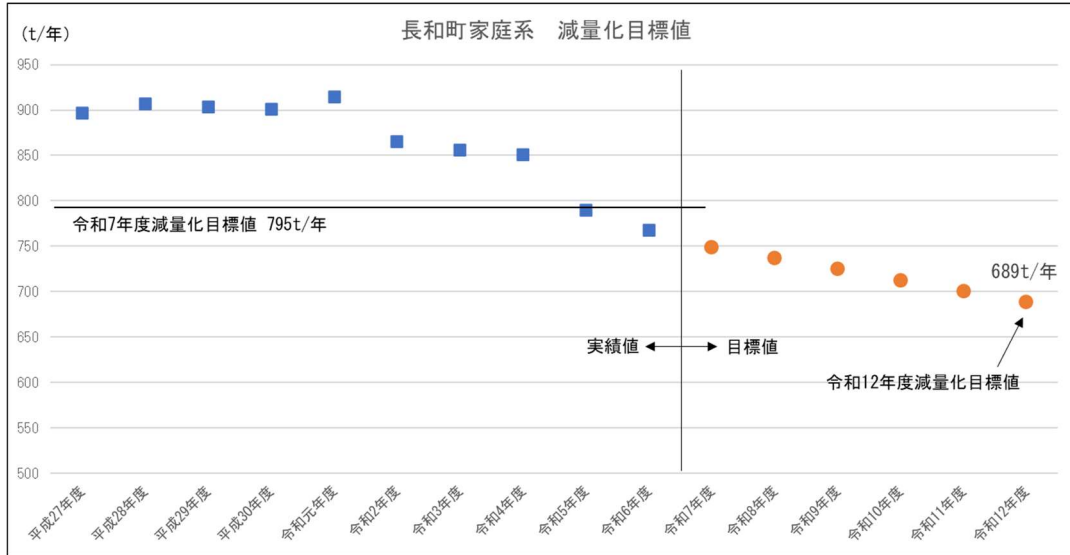


資料図6 東御市可燃ごみの実績及び減量化目標値

3) 長和町

(ア) 家庭系

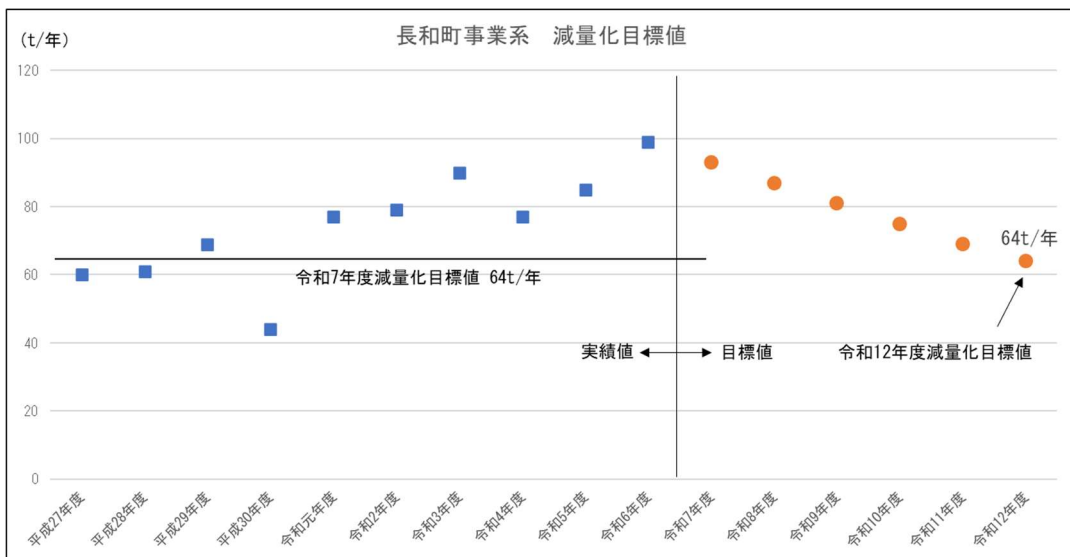
- ・ 令和7年度の減量化目標値は達成されている。
- ・ 他都市の減量化目標値の設定状況を踏まえ（375g/人日）とする。
 $\text{※}375\text{g/人日} \times \text{R12年度予測人口} \times 365\text{日} = 698\text{t/年}$



資料図7 長和町家庭系可燃ごみの実績及び減量化目標値

(イ) 事業系

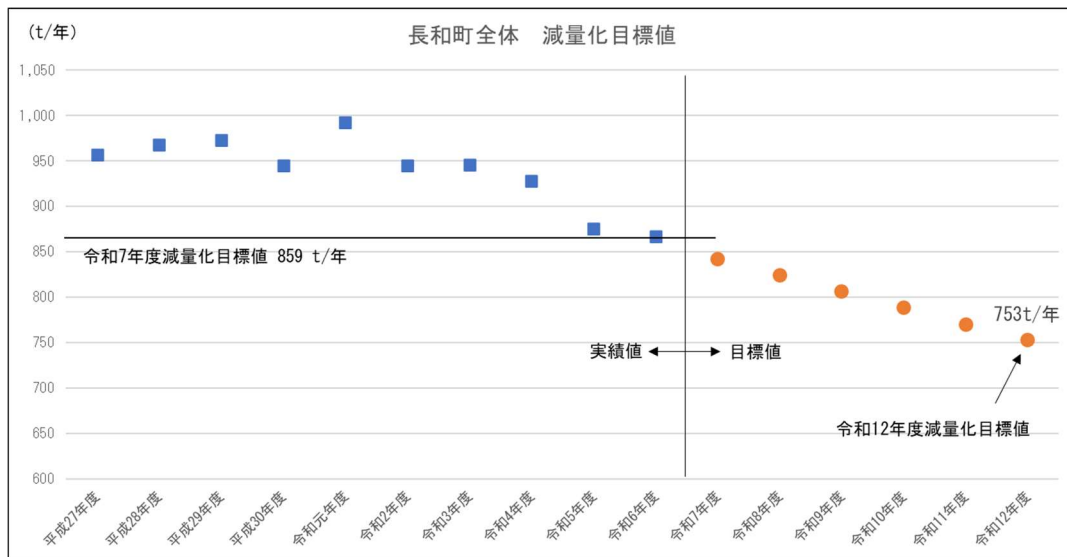
- ・ 年々、増加傾向であり、令和7年度減量化目標値を達成されていない。
- ・ 令和7年度減量化目標値（64 t/年）を、再度採用する。



資料図8 長和町事業系可燃ごみの実績及び減量化目標値

(ウ) 長和町全体

- ・家庭系可燃ごみ 689 t/年 (375 g/人日)
- ・事業系可燃ごみ 64 t/年
- ・可燃ごみ合計 753 t/年

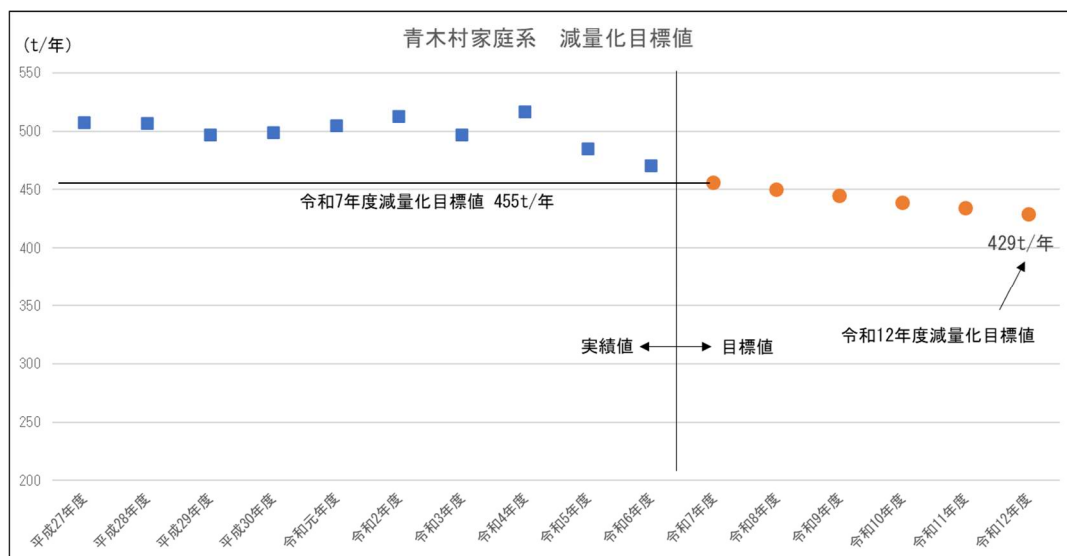


資料図9 長和町可燃ごみの実績及び減量化目標値

4) 青木村

(ア) 家庭系

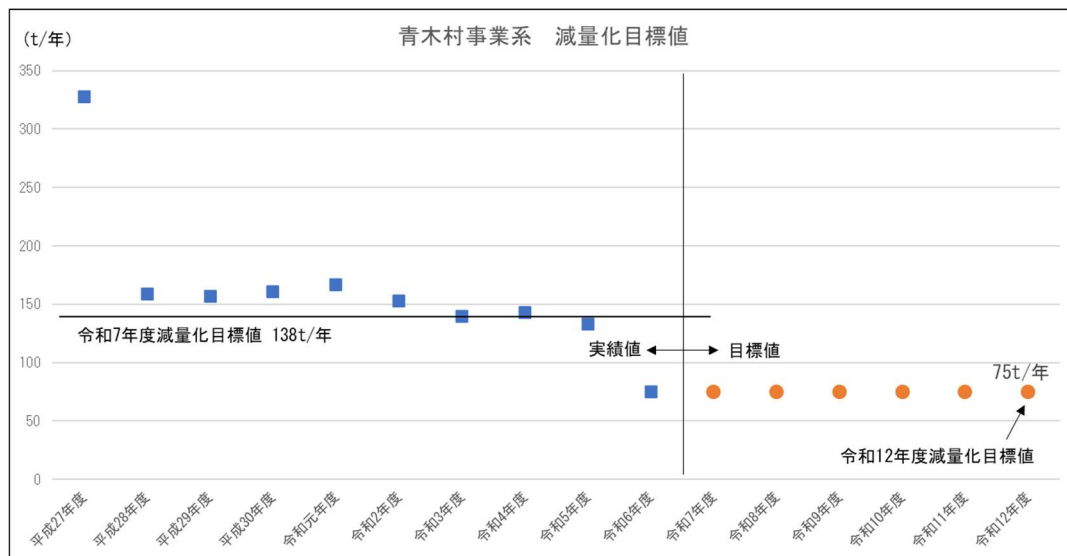
- ・令和7年度減量化目標値を達成されていない。
 - ・再度、令和7年度減量化目標値を採用 (305g/人日) する。(現状 315.0g/人日)
- ※ $315\text{g/人日} \times \text{R12年度予測人口} \times 365\text{日} = 429\text{t/年}$



資料図10 青木村家庭系可燃ごみの実績及び減量化目標値

(イ) 事業系

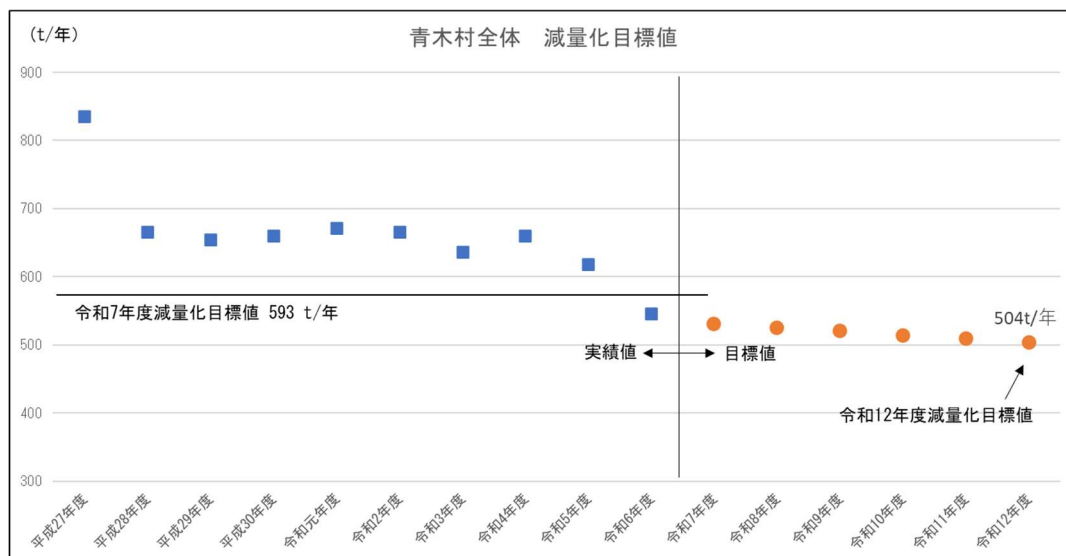
- ・令和6年度から集計方法を変更した。
- ・大規模工場が稼働したこともあり、令和6年度の実績値を目標値とする。



資料図11 青木村事業系可燃ごみの実績及び減量化目標値

(ウ) 青木村全体

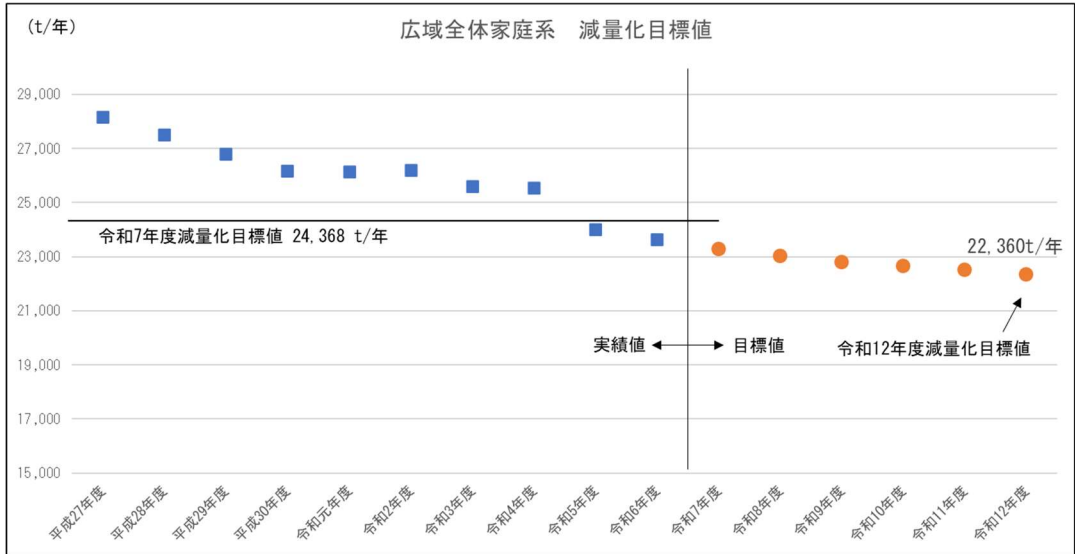
- ・家庭系可燃ごみ 429 t/年 (305 g/人日)
- ・事業系可燃ごみ 75 t/年
- ・可燃ごみ合計 504 t/年



資料図12 青木村可燃ごみの実績及び減量化目標値

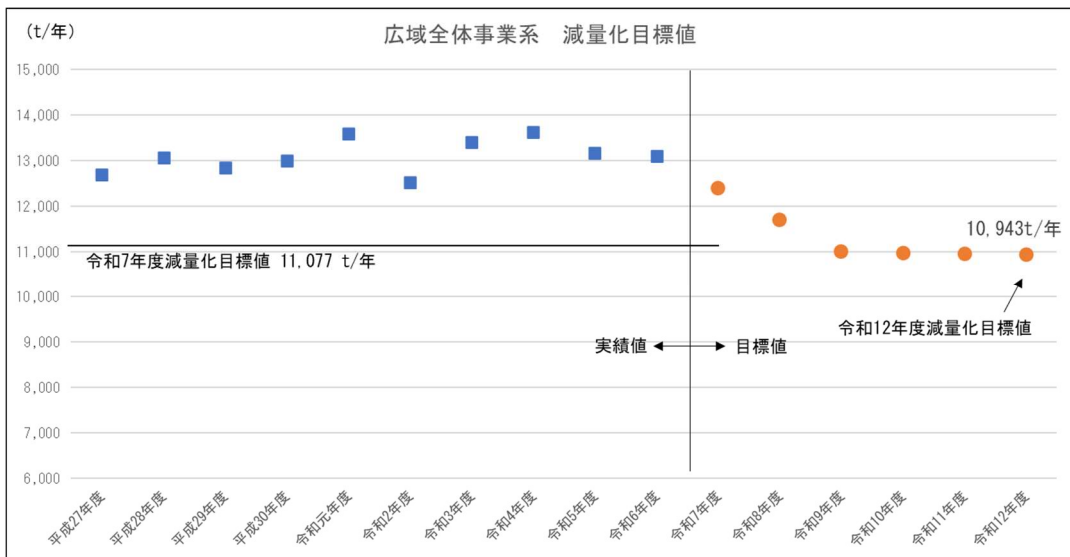
5) 広域全体

(ア) 家庭系



資料図 13 上田地域家庭系可燃ごみの実績及び減量化目標値

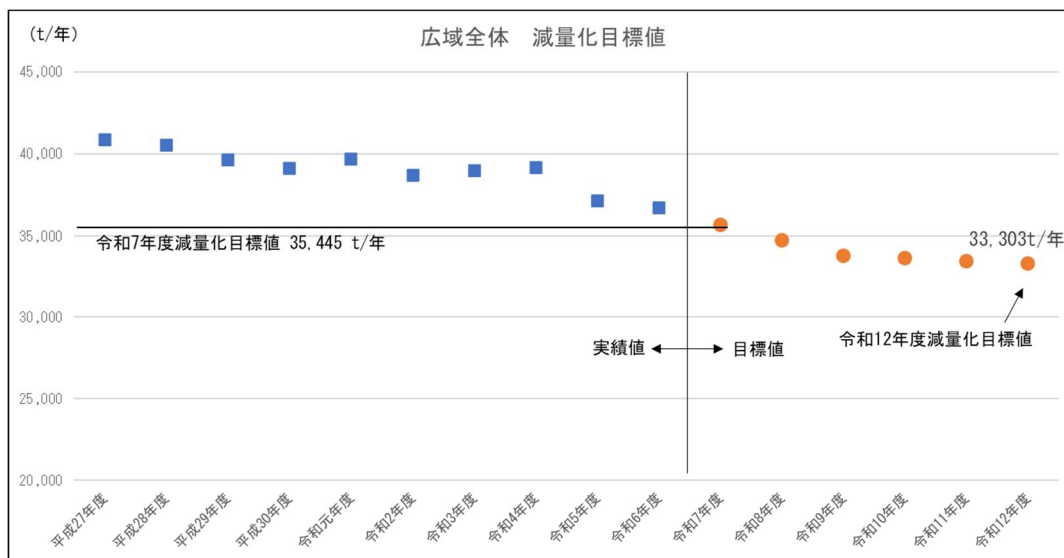
(イ) 事業系



資料図 14 上田地域事業系可燃ごみの実績及び減量化目標値

(ウ) 上田地域全体

- ・家庭系可燃ごみ 22,360 t/年 (335.2 g/人日)
- ・事業系可燃ごみ 10,943 t/年
- ・可燃ごみ合計 33,303 t/年



資料図 15 上田地域可燃ごみの実績及び減量化目標値

資料表 1 実績値（令和 6 年度）と減量化目標値（令和 12 年度）の比較

項目		令和 6 年度実績	令和 12 年度 減量化目標値	対令和 6 年度比
上田地域	家庭系	23,647 t/年 (340.2 g/人日)	22,360 t/年 (335.2 g/人日)	▽ 1,287 t/年 ▽ 5.4 %
	事業系	13,109 t/年	10,943 t/年	▽ 2,166 t/年 ▽ 16.5 %
	合計	36,756 t/年 (528.9 g/人日)	33,303 t/年 (499.3 g/人日)	▽ 3,453 t/年 ▽ 9.4 %
上田市	家庭系	19,632 t/年 (354.5 g/人日)	18,618 t/年 (349.0 g/人日)	▽ 1,014 t/年 ▽ 5.2 %
	事業系	12,144 t/年	10,100 t/年	▽ 2,044 t/年 ▽ 16.8 %
	合計	31,776 t/年 (573.8 g/人日)	28,718 t/年 (538.3 g/人日)	▽ 3,058 t/年 ▽ 9.6 %
東御市	家庭系	2,776 t/年 (261.8 g/人日)	2,624 t/年 (259.5 g/人日)	▽ 152 t/年 ▽ 5.5 %
	事業系	791 t/年	704 t/年	▽ 87 t/年 ▽ 11.0 %
	合計	3,567 t/年 (336.4 g/人日)	3,328 t/年 (329.2 g/人日)	▽ 239 t/年 ▽ 6.7 %
長和町	家庭系	768 t/年 (379.6 g/人日)	689 t/年 (375 g/人日)	▽ 79 t/年 ▽ 10.3 %
	事業系	99 t/年	64 t/年	▽ 35 t/年 ▽ 35.4 %
	合計	867 t/年 (428.5 g/人日)	753 t/年 (409.7 g/人日)	▽ 114 t/年 ▽ 13.1 %
青木村	家庭系	471 t/年 (315.0 g/人日)	429 t/年 (305 g/人日)	▽ 42 t/年 ▽ 8.9 %
	事業系	75 t/年	75 t/年	—
	合計	546 t/年 (365.4 g/人日)	504 t/年 (358.6 g/人日)	▽ 42 t/年 ▽ 7.7 %

資料表 2 減量化目標値（令和 7 年度と令和 12 年度）の比較

項 目		令和 7 年度 減量化目標値	令和 12 年度 減量化目標値	対令和 7 年度比
上田地域	家庭系	24,368 t/年 (353 g/人日)	22,360 t/年 (335.2 g/人日)	▽ 2,008 t/年 ▽ 8.2 %
	事業系	11,077 t/年	10,943 t/年	▽ 134 t/年 ▽ 1.2 %
	合 計	35,445 t/年 (514 g/人日)	33,303 t/年 (499.3 g/人日)	▽ 2,142 t/年 ▽ 6.0 %
上田市	家庭系	20,377 t/年 (371 g/人日)	18,618 t/年 (349.0 g/人日)	▽ 1,759 t/年 ▽ 8.6 %
	事業系	10,171 t/年	10,100 t/年	▽ 71 t/年 ▽ 0.7 %
	合 計	30,548 t/年 (556 g/人日)	28,718 t/年 (538.3 g/人日)	▽ 1,830 t/年 ▽ 6.0 %
東御市	家庭系	2,741 t/年 (261 g/人日)	2,624 t/年 (259.5 g/人日)	▽ 117 t/年 ▽ 4.3 %
	事業系	704 t/年	704 t/年	—
	合 計	3,445 t/年 (328 g/人日)	3,328 t/年 (329.2 g/人日)	▽ 117 t/年 ▽ 3.4 %
長和町	家庭系	795 t/年 (402 g/人日)	689 t/年 (375 g/人日)	▽ 106 t/年 ▽ 13.3 %
	事業系	64 t/年	64 t/年	—
	合 計	859 t/年 (434 g/人日)	753 t/年 (409.7 g/人日)	▽ 106 t/年 ▽ 12.4 %
青木村	家庭系	455 t/年 (305 g/人日)	429 t/年 (305 g/人日)	▽ 26 t/年 ▽ 5.7 %
	事業系	138 t/年	75 t/年	▽ 63 t/年 ▽ 45.7 %
	合 計	593 t/年 (398 g/人日)	504 t/年 (358.6 g/人日)	▽ 89 t/年 ▽ 15.0 %